

# 幕別町集中改革プラン

(平成18年度～平成22年度)

平成18年12月

北海道幕別町

# 目 次

## 基本的な考え方

|   |                   |   |
|---|-------------------|---|
| 1 | 本町のこれまでの行政改革の取り組み | 2 |
| 2 | 集中改革プランの考え方       | 2 |
| 3 | 集中改革プランの計画期間      | 3 |
| 4 | 推進体制              | 3 |
| 5 | 進捗状況の公表           | 3 |

## 具体的な取組等

|   |                          |    |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 事務事業の再編・整理、廃止・統合         | 4  |
| 2 | 民間委託等の推進（指定管理者制度の活用を含む。） | 5  |
| 3 | 定員管理の適正化                 | 8  |
| 4 | 給与の適正化                   | 10 |
| 5 | 第三セクター等の見直し              | 12 |
| 6 | 経費節減等の財政効果               | 13 |
| 7 | 地方公営企業の適正化               | 16 |
| 8 | その他                      | 18 |

|  |      |    |
|--|------|----|
|  | おわりに | 19 |
|--|------|----|

## 基本的な考え方

### 1 本町のこれまでの行政改革の取り組み

本町の行政改革は、昭和62年に「第1次行政改革大綱」を策定し、また、平成8年に「第2次行政改革大綱」を策定、さらには、平成12年に推進計画の見直しを行うなど、組織・運営全般にわたり時代の要請に合わせた改革に着手し、健全な行財政の運営に取り組んできました。

平成18年2月6日に忠類村と合併することが決定し、新たなまちづくりのスタートを迎えていましたが、行政改革は新・幕別町の重要課題と受け止め、平成17年5月に新たな行政改革の策定のため、庁内に町長を本部長とする行政改革推進本部を設置し、第2次行政改革大綱の実績を踏まえ新たな推進項目の協議をすすめ、平成18年10月に幕別町行政改革推進委員会の答申を受け、「幕別町行政改革大綱(第3次)」と平成18年から平成22年までの5年間を期間とする「推進計画」を策定しました。

### 2 集中改革プランの考え方

総務省は、平成17年3月に「地方公共団体における行政改革推進のための新たな指針」を示し、各自治体の行政改革大綱に基づき具体的取り組みを集中的に実施するため、各自治体に対し、具体的な取り組みを明示した「集中改革プラン」を策定し、その内容を住民に対してわかりやすく公表することを求めています。

本町では、平成18年2月に合併し、また新たな行政改革大綱の策定中であったため、平成17年度中の策定には至りませんでした。行政改革大綱(第3次)及び平成18年度から平成22年度までの推進計画の内容を踏まえ、具体的な取り組みを町民にわかりやすく「幕別町集中改革プラン」として策定するものです。

#### 【集中改革プランに掲げる事項】

- 1 事務事業の再編・整理、廃止・統合
- 2 民間委託等の推進(指定管理者制度の活用を含む。)
- 3 定員管理の適正化
- 4 給与の適正化
- 5 第三セクター等の見直し
- 6 経費節減等の財政効果
- 7 地方公営企業の適正化
- 8 その他

### 3 集中改革プランの計画期間

集中改革プランの計画期間は、行政改革大綱（第3次）推進計画にあわせ平成18年度から平成22年度までの5年間としますが、必要にあわせ適時見直しを行います。

ただし、定員管理の基準日は、平成17年4月1日とし、平成22年4月1日の職員数の目標を明確化します。

### 4 推進体制

「集中改革プラン」の総合的かつ組織的な推進を図るため、全庁をあげて改革を実行していくとともに、町長を本部長とする「幕別町行政改革推進本部」において進行管理を行います。

### 5 進捗状況等の公表

「集中改革プラン」及び「行政改革大綱（第3次）及び推進計画」の進捗状況は、「幕別町行政改革推進委員会」に報告するとともに、町広報やホームページ等を通じて公表します。

## 具体的な取組等

### 1 事務事業の再編・整理、廃止・統合

#### (1) 基本的考え方

新たな時代の変化に伴い、複雑・多様化する住民ニーズに柔軟に対応するため、事務事業については集中化・効率化を一層推進するとともに、住民サービスにおける公と民との役割分担を明確化にし、従来からの事務事業について、個々、具体的に見直しに取り組みます。また、新規事業については優先順位を定め、行政の果たすべき役割、受益と負担の公平の確保、行政効率等に配慮するとともに、行政評価システムの導入について検討します。

・推進項目〔以降、行政改革大綱（第3次）推進計画に記載している関連項目を明示。番号は、同計画の番号です。〕

| 1 | 公共施設の休館日及び開館時間の見直し  | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度  | 21年度  | 22年度  | 合計(千円) |
|---|---|--------------|------|------|-------|-------|-------|--------|
|   | 公共施設の休館日及び開館時間について、施設の利用状況、住民ニーズ、費用対効果などを総合的に勘案したうえで見直しを行う。 | 総務課          | 検討   | →    | 実施    | →     | →     |        |
|   |   | 効果額<br>(目標額) |      |      | 3,924 | 3,924 | 3,924 | 11,772 |

| 2 | 敬老会の開催方法の見直し                                    | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|---|---|--------------|------|------|------|------|------|--------|
|   | 参加者にとってより身近な、気軽に参加できる敬老会とするため、分散開催などあり方の見直しを行う。 | 福祉課          | 検討   | →    | 実施   | →    | →    |        |
|   |   | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

| 3 | 庁外団体への事務的関与の見直し  | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|---|--|--------------|------|------|------|------|------|--------|
|   | 行政の役割分担の明確化と団体の自主・自立を促すため、事務局の独立や団体事務の主体的取組みへの移行など、行政の事務的関与について見直しを行う。 | 関係課          | 検討   | →    | 実施   | →    | →    |        |
|   |  | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

| 4 | 観光宣伝・イベント事業の見直し                    | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|---|------------------------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
|   | 役割分担の明確化と効果・効率をふまえた観光宣伝・イベント事業の検討。 | 商工観光課        |      | 検討   | 実施   | →    | →    |        |
|   |                                    | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

| 5 | 行政サービスの品質管理の向上                                   | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|---|--|--------------|------|------|------|------|------|--------|
|   | 業務のマニュアル化を積極的に行い、行政サービスの品質を確保するための効率的なシステムを検討する。 | 総務課          |      | 検討   | →    | 実施   | →    |        |
|   |  | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

|  |                                 |              |      |      |      |      |      |        |  |
|--|---------------------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|--|
| 6  | <b>省エネ・リサイクル等の徹底及び新エネルギーの活用</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |  |
|  |                                 | 企画室<br>町民課   | 実施済  |      |      |      |      |        |  |
|  |                                 | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |  |
| 徹底した事務経費のコスト削減に努め、物件費の上昇を抑制し、公用車についてもハイブリッド化・小型化を図る。また、太陽光や風力、バイオマスなどを利用し、クリーンエネルギーの普及に努め、地球温暖化の対策を推進する。 |                                 |              |      |      |      |      |      |        |  |

|  |                  |              |      |      |      |      |      |        |  |
|--|------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|--|
| 7  | <b>文書管理事務の徹底</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |  |
|  |                  | 総務課          | 検討   | →    | 実施   | →    |      |        |  |
|  |                  | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |  |
| 事務事業の複雑化・多様化による文書量の増加に伴い、事務文書の効率的かつ適正な管理に努め、保存場所の確保、保存方法の効率化を図る。 |                  |              |      |      |      |      |      |        |  |

## 2 民間委託等の推進（指定管理者制度の活用含む。）

### （1） 基本的な考え方

本町においては、これまで民間委託など民間活力の導入を積極的に進めてきましたが、一層のサービス水準の向上と業務の効率化を図るために、民営化・民間委託・指定管理者制度などの導入を推進し、「公と民」の役割分担の明確化と協働の視点から「新しい公共空間」の形成による公共サービスの質の向上を図ります。

### ・ 推進項目

|  |                  |              |      |      |      |      |      |        |  |
|--|------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|--|
| 8  | <b>各種業務の民間委託</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |  |
|  |                  | 関係課          | 検討   | 実施   | →    |      |      |        |  |
|  |                  | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |  |
| 専門性、技術力を要する業務や民間が優れたノウハウを有する業務については、可能な限り民間への業務委託を進める。 |                  |              |      |      |      |      |      |        |  |

|   |                               |              |      |      |      |      |      |        |  |
|---|-------------------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|--|
| 9   | <b>指定管理者制度の導入及び公共施設の管理の検討</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |  |
|   |                               | 総務課          | 検討   | →    | 実施   | →    |      |        |  |
|   |                               | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |  |
| 公の施設管理のあり方を検証し、民間委託できる部分はサービスの低下を招かないよう配慮しつつ、指定管理者制度の活用を含め積極的に民間委託等を推進する。 |                               |              |      |      |      |      |      |        |  |

|  |                  |              |      |      |      |      |      |        |  |
|--|------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|--|
| 40   | <b>公共施設の適正配置</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |  |
|  |                  | 総務課<br>関係課   | 検討   | →    | 実施   | →    |      |        |  |
|  |                  | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |  |
| 各種公共施設が住民ニーズに応じ適正に配置されるよう、適正規模や用途等を検討し、必要に応じ用途変更や統廃合を図る。また、利用目的の終了したものや、経済性から見て必要性に欠けるもの、老朽化が進み利用効率の低い施設については、処分も含め再検討を行う。 |                  |              |      |      |      |      |      |        |  |

(2) 公の施設についての取組目標

ア 公の施設管理等について

(平成18年度4月現在)

|                  | 施設の種類           | 施設数 | 主な施設                 |
|------------------|-----------------|-----|----------------------|
| 公<br>の<br>施<br>設 | レクリエーション・スポーツ施設 | 31  | 野球場 体育館 プール スキー場等    |
|                  | 産業振興施設          | 12  | 牧場 農産物処理加工施設等        |
|                  | 基盤施設            | 154 | 浄水場 下水処理場 町営住宅 公園等   |
|                  | 文教施設            | 21  | 文化ホール 公民館 図書館 児童館等   |
|                  | 医療・社会福祉施設       | 99  | 保育所 保健福祉センター 近隣センター等 |
|                  | 合計              | 317 |                      |

イ 指定管理者制度の活用について

平成15年の地方自治法の改正により、公の施設の管理について、従来の「管理委託制度」が廃止され、代わって「指定管理者制度」が導入されました。

この制度は、サービス面、コスト面等で公の施設の最良の管理運営を追求するものであり、町が直接管理運営する場合またはその他の事業所等が行う場合など、いずれが効果的、効率的かなどを比較検討したうえで、施設管理の主体を決定する必要があります。

より適切な管理運営とサービス向上が期待できる施設を検討し、条件や準備が整った施設から順次導入を進めるため、庁内に「指定管理者制度導入検討委員会」を設置し、新たな指定管理者制度導入に関する基本方針を平成18年度中に策定します。

(平成18年度4月現在)

|                  | 施設の種類           | 総施設数 | 主な施設         |                     |               | 業務委託実施済み施設数 |
|------------------|-----------------|------|--------------|---------------------|---------------|-------------|
|                  |                 |      | 直営で管理している施設数 | 旧法第244条の2による管理委託施設数 | 指定管理者による管理施設数 |             |
| 公<br>の<br>施<br>設 | レクリエーション・スポーツ施設 | 31   | 30           |                     | 1             | 21          |
|                  | 産業振興施設          | 12   | 11           |                     | 1             | 6           |
|                  | 基盤施設            | 154  | 154          |                     |               | 49          |
|                  | 文教施設            | 21   | 21           |                     |               | 7           |
|                  | 医療・社会福祉施設       | 99   | 99           |                     |               | 16          |
|                  | 合計              | 317  | 315          |                     | 2             | 99          |

ウ 公の施設毎の取組内容

・平成18年度 2施設において指定管理者制度を導入

1) レクリエーション施設 「アルコ236」

2) 産業振興施設 「忠類物産センター」

(3) その他の事務についての取組目標

ア その他の事務についての委託状況

(平成18年度4月現在)

|                     | 施設の種類           | 全部委託            | 一部委託   | 全部直営 |        |
|---------------------|-----------------|-----------------|--------|------|--------|
| その他の事務              | 本庁舎清掃           |                 |        |      |        |
|                     | 本庁舎夜間警備         |                 |        |      |        |
|                     | 案内・受付           |                 |        |      |        |
|                     | 電話交換            |                 |        |      |        |
|                     | 公用車運転           |                 |        |      |        |
|                     | し尿処理            | (十勝環境複合事務組合で処理) |        |      |        |
|                     | 一般ごみ収集          |                 |        |      |        |
|                     | 学校給食            | (調理)            |        |      |        |
|                     |                 | (運搬)            | (忠類地域) |      | (幕別地域) |
|                     | 学校用務員事務         |                 |        |      |        |
|                     | 水道メータ検針         |                 |        |      |        |
|                     | 道路維持補修・清掃等      | (幕別地域)          | (忠類地域) |      |        |
|                     | ホームヘルパー派遣       |                 |        |      |        |
|                     | 在宅給食サービス        |                 |        |      |        |
|                     | 情報処理・庁内情報システム維持 |                 |        |      |        |
|                     | ホームページ作成・運営     |                 |        |      |        |
|                     | 調査・集計           |                 |        |      |        |
| 総務関係事務(給与、旅費、福利厚生等) |                 |                 |        |      |        |
| 合計                  |                 | 9               | 1      | 9    |        |

イ その他の事務についての取組目標

現在、全部直営で行っている事務あるいは一部委託で行っている事務について、民間への業務委託が可能かどうか検討を進めます。

### 3 定員管理の適正化

#### (1) 基本的な考え方

行政需要の増加に対応していくため、組織の再編、民間委託、事務のOA化等を積極的に進め、簡素で効率的な行政体系の確立を目指します。

#### ・推進項目

|    |                |              |      |        |        |         |         |         |  |
|----|----------------|--------------|------|--------|--------|---------|---------|---------|--|
| 18 | <b>定員の適正管理</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度   | 20年度   | 21年度    | 22年度    | 合計(千円)  |  |
|    |                | 総務課          | 実施   | →      |        |         |         |         |  |
|    |                | 効果額<br>(目標額) |      | 68,099 | 93,721 | 174,276 | 237,246 | 573,342 |  |

職員定数削減の数値目標を掲げた定員適正化計画を策定し、定員規模の適正化を図っていく。  
平成18年4月1日 274人  
平成22年4月1日 256人  
(削減人数 18人 削減率 6.6%)

|    |                  |              |      |      |      |      |      |        |  |
|----|------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|--|
| 19 | <b>臨時職員の適正配置</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |  |
|    |                  | 総務課          | 実施   | →    |      |      |      |        |  |
|    |                  | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |  |

事務事業の繁閑の状況に応じ、臨時職員の適正な配置に努める。

|    |                  |              |      |      |      |      |      |        |
|----|------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 15 | <b>組織・機構の見直し</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |                  | 総務課          | 検討   | →    | 実施   | →    |      |        |
|    |                  | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

時代の変化に対応できる効率的な組織に向けて点検、見直しを行う。  
大課大係制(グループ制)の導入の検討  
時期的繁忙期の業務量格差是正のための支援体制の構築の検討

|    |                     |              |      |      |      |      |      |        |
|----|---------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 17 | <b>再任用職員の計画的な活用</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |                     | 総務課          | 検討   | →    |      |      |      |        |
|    |                     | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

高齢社会を迎える中、定年退職者の長年培った能力・経験を有効に活用するため、また、新規採用に比べ費用効果が高いことから、職員構成のバランスを保ちつつ、計画的な再任用職員の活用を検討する。

#### (2) 平成11年4月1日～平成16年4月1日まで(5年間)の定員純減実績

(単位:人、%)

|             |         | 年 度 |     |     |     |     |     | H11 - H16 |       |
|-------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|-------|
|             |         | H11 | H12 | H13 | H14 | H15 | H16 | 削減数       | 削減率   |
| 4月1日<br>職員数 | 一般行政部門  | 250 | 249 | 239 | 236 | 232 | 230 | 20        | 8.0%  |
|             | 特別行政部門  | 54  | 51  | 50  | 48  | 45  | 45  | 9         | 16.7% |
|             | 公営企業等   | 21  | 19  | 22  | 23  | 22  | 22  | 1増        | 4.8%増 |
|             | 計(全職員数) | 325 | 319 | 311 | 307 | 299 | 297 | 28        | 8.6%  |

数字は、旧忠類村と幕別町の合算値 [地方公共団体定員管理調査数値より]

一般行政職部門：議会、総務、税務、民生、衛生、労働、農林水産、商工、土木の各部門

特別行政部門：教育部門

公営企業等：水道、下水道、その他の各部門

(3) 平成17年4月1日～平成22年4月1日までの定員管理の数値目標

(単位：人、%)

|                         |         | 年 度 |     |     |     |     |     | H17 - H22 |      |
|-------------------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|------|
|                         |         | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | 削減数       | 削減率  |
| 4月1日<br>職員数             | 一般行政部門  | 221 | 210 | 203 | 199 | 199 | 196 | 25        | 11.3 |
|                         | 特別行政部門  | 44  | 42  | 42  | 42  | 41  | 39  | 5         | 11.4 |
|                         | 公営企業等   | 21  | 22  | 22  | 22  | 21  | 21  |           |      |
|                         | 計(全職員数) | 286 | 274 | 267 | 263 | 261 | 256 | 30        | 10.5 |
|                         |         |     | 12  | 7   | 4   | 2   | 5   |           |      |
| 前年度<br>退職者数             | 一般行政部門  |     | 11  | 8   | 3   | 3   | 6   |           |      |
|                         | 特別行政部門  |     | 2   |     | 4   |     | 3   |           |      |
|                         | 公営企業等   |     |     |     |     | 1   |     |           |      |
|                         | 計(a)    |     | 13  | 8   | 7   | 4   | 9   |           |      |
| 採用者数                    | 一般行政部門  |     | 1   | 1   | 3   | 2   | 4   |           |      |
|                         | 特別行政部門  |     |     |     |     |     |     |           |      |
|                         | 公営企業等   |     |     |     |     |     |     |           |      |
|                         | 計(a)    |     | 1   | 1   | 3   | 2   | 4   |           |      |
| 採用者数 - 退職者数(b) -<br>(a) |         |     | 12  | 7   | 4   | 2   | 5   |           |      |

平成17年の数字は、旧忠類村と幕別町の合算値

平成20年度以降の採用者数は、前年度退職者数の約4割を補充するものとして試算

(4) 定員適正化目標を達成するための定員管理手法

事務事業を見直し、全体の業務量を減少させなければ、これから段階的に継続されていく職員の削減に対応できません。このような状況の中で、住民ニーズに的確に応えていくためには、職員が危機感を持ち最大の努力をするとともに現在の業務を行政が担うべきかどうかの観点で見直すことが必要となります。

また、合併後1年を経過していない状況にあり、本庁と支所との所掌事務の違いなどに見合った適正な職員配置を検討し、平成18年度中に策定する「幕別町定員適正化計画」に反映させるものとします。

(5) 人材育成の推進

地方分権の推進により、市町村は、自らの判断と決定に基づき地域固有の行政課題に対応していくことが求められており、時代の変化や住民ニーズを的確にとらえ、新たな発想と広い視野を持った意欲あふれる職員の育成と、専門性、技術力を備えた職員を育成していくことが急務です。

そのためには、職員の意識改革と職員研修の充実・強化を図り、職員が意欲的に仕事に取り組み、個々の能力を発揮できる活力ある職場環境づくりが必要です。

・ 推進項目

|    |  |              |      |      |      |      |      |        |
|----|--|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 23 | <b>人事評価制度の導入の検討</b><br>職員の資質向上、能力開発など人材育成を図るため、多面的な人事評価の導入を検討する。 | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |  | 総務課          | 検討   | →    | 実施   |      |      |        |
|    |  | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

|    |   |              |      |      |      |      |      |        |
|----|---|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 24 | <b>人材育成、職員能力開発の推進</b><br>人材育成基本方針を策定し、分権時代に求められる職員の政策形成能力、対人能力、業務遂行能力の向上のため、各種研修の拡充など人材育成の強化を図る。<br><br>初任者研修の拡充 - 基本実務、接遇の徹底<br>定期的な研修制度の再構築 - 職務に応じた定期的な職員研修制度の再構築<br>専門研修の拡充 - 自治大学校、市町村アカデミー研修派遣の拡充<br>自主研修の拡充 - 自ら課題を設定する自主的な研修<br>現業研修の実施 - 福祉施設等での研修の実施<br>民間研修の実施 - 民間企業における研修の実施<br>人事交流の拡充 - 国・道との人事交流機会の拡充 | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |   | 総務課          | 実施   | →    |      |      |      |        |
|    |   | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

|    |   |              |      |      |      |      |      |        |
|----|---|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 25 | <b>職員提案制度の活性化</b><br>事務事業の改革改善に向けた職員提案を促進する。職員提案制度を職員の自己啓発や能力開発をきっかけづくりの機会とするとともに、創意工夫が行われる職場風土を醸造し、発言できる機会を充実する。 | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |   | 企画室          | 実施   | →    |      |      |      |        |
|    |   | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

|    |  |              |      |      |      |      |      |        |
|----|--|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 26 | <b>庁内研究推進チームの設置</b><br>行政課題について実施に向けた研究を行う。現状の把握と、業務精査を行いながら、高度な行政推進を行う。 | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |  | 総務課<br>企画室   | 実施   | →    |      |      |      |        |
|    |  | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

4 給与の適正化

(1) 基本的な考え方

職員の給与制度については、町民の納得と支持が得られる給与制度・運用・水準の適正化が求められることから、国における給与構造改革を見据え、新たな給与制度を構築していくことが必要です。

・推進項目

|    |                  |              |      |      |      |      |      |        |
|----|------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 20 | <b>時差出勤制度の拡大</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |                  | 総務課<br>関係課   | 実施   | →    | →    | →    | →    | →      |
|    |                  | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

恒常的に夜間業務の多い部署や、夜間サービスなど、時差出勤制度の拡大により超過勤務手当の削減に努める。

|    |                           |              |       |       |       |       |       |        |
|----|---------------------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 21 | <b>時間外勤務手当・休日勤務手当の見直し</b> | 担当課          | 18年度  | 19年度  | 20年度  | 21年度  | 22年度  | 合計(千円) |
|    |                           | 総務課<br>関係課   | 検討    | 実施    | →     | →     | →     | →      |
|    |                           | 効果額<br>(目標額) | 9,933 | 9,593 | 9,465 | 9,062 | 8,747 | 46,800 |

時間外勤務手当・休日勤務手当のうち、日常業務に係る支給総額を現在の給料総額の7%から6%以内になるよう縮減を図る。

(2) 不適正な制度、運用の有無について

| 取組項目                     |                | 実施内容(現在の状況)  |
|--------------------------|----------------|--|
| 不適正な昇格<br>運用の是正等         | 退職時特別昇給        | 平成16年6月廃止済<br>合併協議により勤奨退職者特別昇給あり(平成20年3月31日まで20号級) |
|                          | 初任給基準          | 国の制度と同じ  |
|                          | 昇給期間短縮         | 無し   |
| 級別職務分類表に適合しない級への格付け(わたり) |                | 無し   |
| 退職手当の支給率                 |                | 国の制度と同じ  |
| 諸手当の総点<br>検の実施           | 通勤手当           | 国の制度と同じ  |
|                          | 住居手当           | 持ち家に係る支給額が国の制度より高額(月額14,000円)                      |
|                          | 特殊勤務手当         | 平成16年4月すべて廃止済                                      |
|                          | その他の手当         | 無し   |
| 技術労務職の<br>給与の見直し         | 給料表の適正化        | 行政職給料表(一)を使用                                       |
|                          | 国・民間団体等の<br>比較 |  |

(3) 定員・給与の公表

定員・給与の公表については、従来の町広報への掲載に加え、総務事務次官通知「地方公共団体における職員給与等の公表について」により示された公表方法、様式等に基づき、町ホームページ及び「地方公共団体給与情報等公表システム」により公表します。

・推進項目

|    |                     |              |      |      |      |      |      |        |
|----|---------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 22 | <b>定員・給与等の状況の公表</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |                     | 総務課          | 実施   | →    | →    | →    | →    | →      |
|    |                     | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

職員の給与や定員管理の状況について、住民のより一層の理解を得るため、従来の広報掲載に加え、町ホームページ及び「地方公共団体給与情報等公表システム」により公表する。

(4) 福利厚生事業

福利厚生事業については、これまで職員の会費と町からの補助金で運営していましたが、平成17年度から町補助金の交付を廃止し、会費のみで事業を行っています。引き続き、町民の理解が得られるよう適正な事業を実施していきます。

(幕別町役場職員交友会 平成18年度予算 - 10,900千円)

5 第三セクター等の見直し

(1) 基本的考え方

本町の第三セクターや公社は、その時々時代の要請を受けて設立されたものであり、町の行政施策と密接に連携しながら公共サービスの提供を行い、重要な役割を担ってきましたが、社会経済環境の変化とともにその役割も変化してきました。

また、地方自治法の改正により指定管理者制度が導入され、公の施設の管理に関して、民間事業者の参入も可能となったことから、公の施設を管理を受託している第三セクターにとってはその事業基盤に大きく影響を及ぼしています。

本町には、地域の振興等のために設立された第三セクターがあり、「第三セクターに関する指針の改定について」(平成15年12月総務省自治財務局長通知)に基づき、第三セクターが自ら取り組む課題について明らかにし、第三セクターの必要性、町の関与の妥当性、監査体制、点検評価、情報公開、役職員数、給与等の視点から総合的、抜本的な見直しを図ります。

(2) 第三セクター等の現状

平成18年3月31日現在

| No. | 名称        | 設立年   | 業務の概要               | 出資率    | 役員数 | 職員数 |
|-----|-----------|-------|---------------------|--------|-----|-----|
| 1   | 幕別町地域振興公社 | 昭和62年 | 札内川ゴルフ場の運営          | 37.2%  | 13人 | 9人  |
| 2   | 幕別町土地開発公社 | 昭和48年 | 住宅・工業団地及び公共用地の取得・処分 | 100.0% | 12人 | 3人  |
| 3   | 忠類振興公社    | 平成5年  | 温泉宿泊施設の管理、運営業務      | 63.3%  | 8人  | 11人 |

## 6 経費節減等の財政効果

### (1) 基本的考え方

国、地方の財政状況は大変厳しいことから、受益と負担の関係を考慮しつつ、使用料等の値上げや減免規定の見直しについて検討をすすめ財源確保に努力します。また、その限られた財源を有効に活用するため、事務事業の整理、統合等に努め、財源配分の重点化を実施し、最小の経費で最大の効果を上げる行政運営に努めます。

#### ・推進項目

|    |                 |                   |      |      |      |      |      |        |
|----|-----------------|-------------------|------|------|------|------|------|--------|
| 34 | <b>広告料収入の検討</b> | 担当課               | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |                 | 総務課<br>企画室<br>関係課 | 検討   | 実施   | —    | —    | →    |        |
|    |                 | 効果額<br>(目標額)      |      | 936  | 936  | 936  | 936  | 3,744  |

新たな自主財源の確保のひとつとして、ホームページ、公共施設等に広告を掲示し、広告料収入を得る。

|    |                          |              |      |      |      |      |      |        |
|----|--------------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 35 | <b>使用料・負担金等受益者負担の見直し</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |                          | 総務課<br>関係課   | 検討   | —    | —    | →    | 実施   |        |
|    |                          | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

提供する公共サービスに要する経費と受益の程度を勘案し、適正な受益者負担となっているか積算根拠の見直しを行う。使用料や負担金などの受益者負担について、4年ごとに積算根拠の見直しを行う。

|    |                                  |              |      |      |      |      |       |        |
|----|----------------------------------|--------------|------|------|------|------|-------|--------|
| 36 | <b>公共施設使用料減免の見直し<br/>(基本的廃止)</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度  | 合計(千円) |
|    |                                  | 総務課<br>関係課   | 検討   | —    | —    | →    | 実施    |        |
|    |                                  | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      | 4,000 | 4,000  |

町民間の負担の公平化を図るため、減免基準の見直しを行う。受益者負担の公平化の原則に立ち、公共施設の使用料減免は、基本的に廃止する。

|    |                    |              |      |      |      |      |      |        |
|----|--------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 37 | <b>町税等徴収金の向上対策</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |                    | 関係課          | 実施   | —    | —    | —    | →    |        |
|    |                    | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

滞納者に対する行政サービスの制限について検討を進めるとともにコンビニ収納を実施する。

|    |                 |              |      |      |      |      |      |        |
|----|-----------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 16 | <b>審議会等の見直し</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |                 | 総務課<br>関係課   | 検討   | →    | 実施   | —    | →    |        |
|    |                 | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

各種審議会等の設置目的、活動状況等を把握し、審議会等のあり方及び委員定数の見直しを図り一層の活性化を推進する。

|    |                         |              |      |      |       |       |        |        |
|----|-------------------------|--------------|------|------|-------|-------|--------|--------|
| 38 | <b>職員住宅・教員住宅の戸数の見直し</b> | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度  | 21年度  | 22年度   | 合計(千円) |
|    |                         | 総務課<br>教育委員会 | 検討   | →    | 実施    | —     | →      |        |
|    |                         | 効果額<br>(目標額) |      |      | 2,195 | 9,195 | 12,260 | 23,650 |

近年、職員住宅や教員住宅に恒常的に空家が見受けられることから、必要戸数の見直しを行うとともに、他用途への転用を検討する。

|    |                                     |              |        |        |        |        |        |         |
|----|-------------------------------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 39 | <b>普通財産の売却</b>                      | 担当課          | 18年度   | 19年度   | 20年度   | 21年度   | 22年度   | 合計(千円)  |
|    |                                     | 総務課          | 実施     | →      |        |        |        | →       |
|    | 普通財産のうち将来にわたって利用見込みのない土地について売却を進める。 | 効果額<br>(目標額) | 11,132 | 27,060 | 15,507 | 18,798 | 39,200 | 111,697 |

|    |   |              |      |      |        |        |        |        |
|----|---|--------------|------|------|--------|--------|--------|--------|
| 32 | <b>公債費の繰上償還</b>                           | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度   | 21年度   | 22年度   | 合計(千円) |
|    |   | 総務課          | 実施   | →    |        |        |        | →      |
|    | 中・長期にわたり健全な財政運営を確保するため、必要に応じ、公債費の繰上償還を行う。 | 効果額<br>(目標額) |      |      | 10,077 | 20,058 | 28,389 | 58,524 |

|    |  |              |      |      |      |      |      |        |
|----|--|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 33 | <b>行政コスト計算書の作成</b>   | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |  | 総務課          |      | 検討   | 実施   | →    | →    |        |
|    | 行政分野ごとにどれだけの費用がかかっているかを示すコスト負担の内訳書等を作成し、公表することによって、透明性の高い行政運営を図っていく。 | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

|    |  |              |      |      |      |      |      |        |
|----|--|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 41 | <b>公共工事コスト縮減に関する行動計画の策定</b>  | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |  | 総務課<br>土木課   | 検討   | →    | 実施   | →    | →    |        |
|    | 公共工事コストの縮減を図るため、工事の計画、設計の見直しにより、直接的な工事コストの低減に加え、ライフサイクルコストの低減などの観点でも取り組み、総合的なコストの低減等に取り組むための計画を策定する。 | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

|    |  |              |      |      |      |      |      |        |
|----|--|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 42 | <b>入札・契約制度の適正化</b>   | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|    |  | 総務課          |      | 検討   | 実施   | →    | →    |        |
|    | 多様な入札制度の導入等により、入札の透明性・公平性・競争性の向上を図るとともに、入札業務の効率化及び簡素化を図るため、郵便入札・電子入札の導入について、検討・実施する。 | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |

## (2) 補助金の見直し

補助金等の見直しについては、平成18年に策定した行政改革大綱(第3次)及び推進計画の中でも重要課題であります。現在「補助金等適正化委員会」を設置し、補助金の整理・合理化にあたり、補助金の公平性、公正性及び透明性の確保を図るため、「補助金等交付基準」を平成18年度中に策定中であり、平成19年度以降関係団体との協議を進め、できるものから平成20年度予算に反映します。

・推進項目

| 10  | 団体等への補助金等の見直し | 担当課             | 18年度 | 19年度 | 20年度  | 21年度   | 22年度   | 合計(千円) |
|---|---------------|-----------------|------|------|-------|--------|--------|--------|
| 団体等への補助金等のうち補助目的を達成したものの、補助効果の薄くなったもの、自主自立が可能なものなどについて、廃止又は整理統合に向けた検討を行う。また、当該団体の繰越金が多額なもの、補助金の大部分が運営費に充てられているものなどについて、縮減に向けた検討を行う。 |               | 総務課<br>(検討小委員会) | 検討   | →    | 実施    | →      | →      |        |
|   |               | 効果額<br>(目標額)    |      |      | 6,000 | 12,000 | 18,000 | 36,000 |

| 11  | 各種補助金の必要性などを審査する委員会等の設置 | 担当課             | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|---|-------------------------|-----------------|------|------|------|------|------|--------|
| 各団体等への補助金については、その必要性、費用対効果、経費負担のあり方等を検証する委員会等を設置する。 |                         | 総務課<br>(検討小委員会) | 検討   | →    | 実施   | →    | →    |        |
|   |                         | 効果額<br>(目標額)    |      |      |      |      |      |        |

(3) 経費節減等の財政効果

行政改革大綱(第3次)推進計画(平成18年度～平成22年度)における効果額

(単位:千円)

| 項 目 |                    | 効果額(目標額) |         |         |         |         |         |
|-----|--------------------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
|     |                    | 18年度     | 19年度    | 20年度    | 21年度    | 22年度    | 合計額     |
| 入   | 広告料収入の検討           |          | 936     | 936     | 936     | 936     | 3,744   |
|     | 使用料・負担金等受益者負担の見直し  |          |         |         |         |         |         |
|     | 公共施設使用料減免の見直し      |          |         |         |         | 4,000   | 4,000   |
|     | 普通財産の売却            | 11,132   | 27,060  | 15,507  | 18,798  | 39,200  | 111,697 |
|     | 計                  | 11,132   | 27,996  | 16,443  | 19,734  | 44,136  | 119,441 |
| 出   | 公共施設の休館日及び開館時間の見直し |          |         | 3,924   | 3,924   | 3,924   | 11,772  |
|     | 団体等への補助金等の見直し      |          |         | 6,000   | 12,000  | 18,000  | 36,000  |
|     | 定員の適正管理            |          | 68,099  | 93,721  | 174,276 | 237,246 | 573,342 |
|     | 時間外勤務手当・休日勤務手当の見直し | 9,933    | 9,593   | 9,465   | 9,062   | 8,747   | 46,800  |
|     | 公債費の繰上償還           |          |         | 10,077  | 20,058  | 28,389  | 58,524  |
|     | 職員住宅・教員住宅の戸数の見直し   |          |         | 2,195   | 9,195   | 12,260  | 23,650  |
|     | 計                  | 9,933    | 77,692  | 125,382 | 228,515 | 308,566 | 750,088 |
| 合 計 | 21,065             | 105,688  | 141,825 | 248,249 | 352,702 | 869,529 |         |

## 7 地方公営企業の適正化

本町の経営健全化を図る地方公営企業としては、水道事業、下水道事業及び簡易水道事業があります。今後、外部委託や指定管理者制度などの民間的経営手法の導入や、事務事業の全般的見直し等を行い、社会経済情勢の変化を適切にとらえ、より一層の経営の健全化を推進します。

### (1) 水道事業

老朽化した猿別浄水場を廃止し、平成20年度から十勝中部広域水道企業団から全量受水するよう第3次拡張事業により水道施設の整備を行っています。今後も安全で安定した飲料水の供給ができるよう計画的な整備に努めるとともに、経営の健全化を図ります。

#### (経営改革の推進)

平成17年度までの取り組み

- ・ 検針、取水施設、水質検査・漏水検査・浄水場管理の各種業務委託

平成18年度以降の取り組み

- ・ 料金の見直しの検討

#### (定員管理の適正化)

平成11年度～平成17年度までの職員数の増減

1名減

平成17年度以降の定員管理の適正化

町職員の枠組みに沿って適正化を図る。

#### (給与の適正化)

町職員の枠組みに沿って適正化を図る。

#### (経費節減等の財政効果)

未収金の徴収対策、口座振替及びコンビニ収納の推進による収納率の向上

### (2) 下水道事業

本町の下水道は、幕別地区を公共下水道事業により、札内地区を流域関連公共下水道事業により、忠類地区を農業集落排水事業により、それ以外の農家地区においては個別排水処理施設整備事業により水洗化事業を推進しています。

今後も、快適な生活環境づくりと公共用水域の水質保全のため、計画的に整備を進めるとともに既設の下水道管の補修や浄化センター機器の適正な維持管理に努め、経営の健全化を図ります。

#### (経営改革の推進)

平成17年度までの取り組み

- ・ 浄化センターの管理業務委託

・下水道施設の一部の管理の広域化（一部事務組合設置）

平成18年度以降の取り組み

・料金の見直しの検討

（定員管理の適正化）

平成11年度～平成17年度までの職員数の増減

2名減

平成17年度以降の定員管理の適正化

町職員の枠組みに沿って適正化を図る。

（給与の適正化）

町職員の枠組みに沿って適正化を図る。

（経費節減等の財政効果）

未収金の徴収対策、口座振替及びコンビニ収納の推進による収納率の向上

### （3）簡易水道事業

規模の拡大を推進する農業経営に対応するために水道施設の整備が必要であり、忠類東部地区において、道営事業により新たに給水施設の整備を図ります。

今後も適正な維持管理と収支のバランスがとれる経営改革を図ります。

（経営改革の推進）

平成17年度までの取り組み

・検針業務の委託

平成18年度以降の取り組み

・施設の管理業務等の委託の検討

・料金については、合併協議により平成22年3月31日まで、忠類地区の簡易水道料金が段階的に調整している経過期間であるため、見直しの検討が困難な状況です。

（定員管理の適正化）

平成11年度～平成17年度までの職員数の増減

1名増（忠類地区の施設の増）

平成17年度以降の定員管理の適正化

町職員の枠組みに沿って適正化を図る。

（給与の適正化）

町職員の枠組みに沿って適正化を図る。

（経費節減等の財政効果）

未収金の徴収対策、口座振替及びコンビニ収納の推進による収納率の向上

## 8 その他

### (1) 電子自治体の推進

本町においては合併時に、地域イントラネット事業により本庁と総合支所間さらに各庁舎を核として出先機関を結ぶネットワークの構築を行い、電子自治体の基盤を整備するとともに、公的認証サービスを開始するなど電子自治体を推進してきました。

今後は、情報通信技術を活用した利便性の高いサービスを提供していくために、インターネットを活用した各種申請や届出等の行政手続を、安全かつ迅速に行うことのできる環境を整備します。

#### ・推進項目

| 12 | 公共・公用施設間のLANの構築  | 担当課      | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|----|--|----------|------|------|------|------|------|--------|
|    | 公共施設(本庁・支所・出張所等・コミセン等・トレセン等・学校・公民館等・保育所・幼稚園・その他職員の常駐する公共施設)を結ぶ光ファイバーを中心としたネットワークを構築する。 | 企画室      | 実施済  |      |      |      |      |        |
|    |  | 効果額(目標額) |      |      |      |      |      |        |

| 13 | 各種事務処理システムの導入                                   | 担当課      | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|----|---|----------|------|------|------|------|------|--------|
|    | 現在導入している各種事務システムの機能に加えて、統合型地理情報システム(GIS)等を導入する。 | 企画室      | 検討   |      |      |      |      |        |
|    |   | 効果額(目標額) |      |      |      |      |      |        |

| 14 | 町ホームページの充実                                  | 担当課      | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|----|---|----------|------|------|------|------|------|--------|
|    | 行政情報をはじめ、町内外が知りたい情報をさらにきめ細かく掲載し、内容を一層充実させる。 | 企画室      | 実施   |      |      |      | →    |        |
|    |   | 効果額(目標額) |      |      |      |      |      |        |

### (2) 地域協働の推進

行政と町民の関係は、従来の行政の担い手と受け手という関係から、ともにまちづくりを進めていく協働の関係へと行政システムを転換していくことが望まれています。

協働によるまちづくりを推進していくための町民をはじめとする多様な活動主体と行政の関係は「対等・協力」であり、行政はわかりやすく積極的に行政情報を提供し共有化していく必要があります。今後、様々な分野で情報の提供や施策の形成・実行・評価の各過程における住民参加の機会の拡充に努めます。

また、平成17年1月から開始した「協働のまちづくり支援事業」の一層の充実を図るとともに、ボランティア、NPO等の地域住民による自主的な活動に対する援助や活動場所の提供など、町としても活動主体との連携・協力について積極的に取り組みます。

・ 推進項目

| 27  | 住民参加による政策や事業の決定 | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|---|-----------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 今後とも、ワークショップの開催、会議の公開、アンケートを実施するとともに、新たにパブリックコメント制度を導入し、各種政策の策定や事務事業の実施にあたり、広く住民の意見及び提言を求めるものとする。また、自治基本条例の制定についても検討を進めていく。 |                 | 企画室<br>関係課   | 検討   | 実施   | →    | →    | →    |        |
|   |                 | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |
|   |                 |              |      |      |      |      |      |        |

| 28  | 附属機関委員の公募枠における男女共同参画社会の実現 | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|---|---------------------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 附属機関等の公募枠での委員選考に際し、男女共同参画社会の実現に向け、当面男女率最低25%以上を目標とし、多角的住民参画を促進する。 |                           | 関係課          |      | 検討   | →    | 実施   | →    |        |
|   |                           | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |
|   |                           |              |      |      |      |      |      |        |

| 29  | 行政パートナー制度の導入 | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|---|--------------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 協働の担い手となるような組織、団体の育成を行うとともに、住民自らが行政の業務の一部を担う仕組み(仮称)行政パートナー制度を導入し、住民協働による活力と魅力あるまちづくりを推進する。各種窓口業務、広報関連業務、選挙関連業務等 |              | 関係課          | 検討   | →    | 実施   | →    | →    |        |
|   |              | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |
|   |              |              |      |      |      |      |      |        |

| 30  | 行政手続きの適正化 | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|---|-----------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 行政手続条例の適正な運用を図るとともに、申請に伴う事務処理については、手続きの簡略化や処理日数の短縮化等を図る。電子申請、申請書ダウンロード等 |           | 企画室<br>関係課   | 検討   | 実施   | →    | →    | →    |        |
|   |           | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |
|   |           |              |      |      |      |      |      |        |

| 31   | 情報の共有化 | 担当課          | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 合計(千円) |
|--|--------|--------------|------|------|------|------|------|--------|
| 住民参加機会の拡充と、各種会議の審議過程等の透明性の向上を図るため、会議録はホームページを通じ、住民に公表する。 |        | 関係課          | 検討   | 実施   | →    | →    | →    |        |
|  |        | 効果額<br>(目標額) |      |      |      |      |      |        |
|  |        |              |      |      |      |      |      |        |

おわりに

厳しい地域経済の状況等を背景に、地方公共団体の行政改革の進捗状況に対する住民の視線は厳しいものがあります。

行政改革大綱(第三次)及び推進計画若しくは本プランの推進にあたっては、住民に十分な説明と理解のもとに、危機意識と改革意識を全職員が共有し取り組んでいくものです。